

令和2年4月6日

## オプトアウト文書

「里親担当児童福祉司、一時保護所の児童指導員等及び市区町村要保護児童対策調整機関職員の勤務実態に関する横断的全国調査と一都道府県に対する縦断的IoTセンサーを用いたタイムスタディ」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所（以下「産総研」。）人工知能研究センター高岡昂太主任研究員（愛育研究所 客員研究員）は、以下に関する研究を行っております。本研究は、産総研人間工学実験事前申請、及び愛育研究所 倫理審査委員会の承認を得ております。

### 1：はじめに

児童相談所内で里親支援を行う里親担当児童福祉司、一時保護所の児童指導員等、市区町村要保護児童対策調整機関の職員については、これまで全国規模での実態把握がなされておらず、業務負担の状況を改善するための客観的データが

不足しているのが現状である。

## 2：研究目的・方法

人員配置の改善を検討するための基礎資料として、各機関の勤務体制・業務内容の実態を把握することを目的とする。まず、研究1として、各機関の勤務体制に関する全国アンケート調査を実施する。そして、研究2として、2つの都道府県の一時的保護所職員（常勤・非常勤）にウェアラブルデバイスを用いたタイムスタディ調査を実施し、対象者の一日の業務状況をウェアラブル端末で収集する調査を実施する。

## 3：研究期間

倫理委員会承認日より、令和3年3月31日まで

## 4：研究対象

研究1：全国の児童相談所、一時的保護所、及び市区町村の要保護児童対策調整機関

研究2：2つの都道府県の一時的保護所職員（常勤・非常勤）

## 5：データ収集項目概要

研究1では、全国の児童相談所、一時保護所、及び市区町村の要保護児童対策調整機関の勤務体制に関する回答データ。

研究2では、該当職員の基本情報（性別、勤務年数、専門資格、及びストレスに関する質問紙など）。業務中の動作（ジャイロ）や位置情報（所内は Bluetooth、所外は GPS）に関する5秒単位のデータ。本人同意を得た場合、ストレス状況を測るため、心拍数、そしてまたは日々の終業後の唾液サンプルを回収する。心拍数、唾液サンプルは生体サンプルとしての長期保存は行わない。ただし、今後の業務量調査のために、測定された数値のみ、本人同意を得た場合、それ以外の研究使用を想定する。

## 6：個人情報の管理

研究協力者には事前に同意を取得する。また、機密事項については、当該自治体の情報セキュリティポリシー、及び改正個人情報保護法、個人情報保護条例を遵守する。厳重なデータの保管と利用規定を遵守します。個人を特定することや個人情報を開示することは一切ございません。

## 7：期待される成果

本研究により、勤務実態の把握ができれば職員増員や専門性向上の必要性に関してデータに即した提言が可能となる。また、ウェアラブル端末による調査が実現すれば、アンケート記入のため多忙な職員がさらなる時間を割いたり、録画分析のようなコストをかけたりすることなく調査が可能となる。また、回答率や回答の精度に左右されず正確なデータを収集することも可能となる。さらに、同様に複数の業務を担う他職種の業務把握に展開していくことも可能である。

## 8：相談窓口

〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-7

産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館（バイオ・IT 棟）産業技術総合

研究所人工知能研究センター確率モデリング研究チーム 主任研究員

母子愛育会愛育研究所 客員研究員

高岡昂太

TEL：03-3599-8914（事務 宮本）